

都市が骨格づくりを終え、成熟していくとき、まちづくりには何が求められるでしょうか。

その答えの一つが、

人と人をつなぐ「コミュニケーション」を誘発する仕組みをつくることではないかと思います。

横浜サインとは、横浜の魅力ある景観をつくる屋外広告物のこと。

横浜の街に活気を与え、趣ある風景をつくる大切なエレメントだから、

屋外広告物のことを、親しみも込めて、ハイカラに「サイン」と呼び、

その機能性とデザイン性を高いレベルで両立させて、

個性的な地域のまちづくりに生かそうと、ポジティブに発想する。

様々な地域で工夫を凝らして仕掛けられる、街のサイン。

その“サイン”に気づいて、街を行き交う人々がコミュニケーションに一步踏み出したくなる。

横浜サインによって、横浜を“心躍る、元気な街”にしたいと思っています。



## 第2回 横浜サイン・フォーラム

サインによる魅力あるまちづくり



横浜市都市整備局 景観調整課 横浜サイン担当  
tel: 045-671-2648 fax: 045-663-8641  
[http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/keicho/  
tb-yokohamasign@city.yokohama.jp](http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/keicho/tb-yokohamasign@city.yokohama.jp)

横浜市は、「サインによる魅力あるまちづくり」を積極的に進めていくために、3月1日を「サインの日」と定めました。

サイン

2014年3月1日(土) 14:00~17:00 (開場13:30)

会場: ヨコハマ創造都市センター 1Fホール(横浜市中区本町6-50-1)

主催: 横浜市都市整備局

協力: 一般社団法人神奈川県広告美術協会



# Program プログラム

## 開会挨拶 (14:00~)

・平原 敏英 (横浜市都市整備局長)

## 第1部 プレゼンテーション (14:10~)

テーマ1 「サインによる魅力あるまちづくり」  
・武山良三 (富山大学芸術文化学部教授・学部長、日本サイン学会会長)

テーマ2 「横浜市のサイン行政の実績と今後の方向性」  
・小池 政則 (横浜市都市整備局地域まちづくり部長)

横浜サイン・ロゴマークのデザイン意図  
・イサオマツノ (クリエイティブ・ディレクター)

## 第2部 パネル・ディスカッション (15:30~)

テーマ 「サインによる魅力あるまちづくり」  
・パネリスト (武山良三 / 菊竹雪 / 国吉直行 / 六川勝仁 / 末廣芳和)  
・ファシリテーター 桂有生 (横浜市都市デザイン室)

## 閉会挨拶 (17:00~)

・小池 政則 (横浜市都市整備局地域まちづくり部長)

## 第3部 交流会 (17:15~) ※参加自由 / 有料1,000円

テーマ「第1回横浜サイン・フォーラムを終えて」

## Facilitator ファシリテーター



桂有生 Yuki Katsura

横浜市都市整備局都市デザイン室

東京芸大卒業後、安藤忠雄建築研究所、山本理顕設計工場を経て、2007年横浜市都市デザイン専門職の公募によって入庁。象の鼻パーク、マリンタワー再整備などを担当。現在は都市デザイン担当として東横線跡地、金沢八景駅周辺の都市デザインなどに参画。

# Panelists パネリスト



武山良三 Ryoza Takeyama

富山大学芸術文化学部教授・学部長、日本サイン学会会長

1956年大阪生まれ。京都市立芸術大学美術学部卒業後、日本サイン株式会社を経て1987年株式会社ストロイエ設立、南海電車、神戸ハーバーランドのサイン計画などを手がける。1997年より高岡短期大学へ、以後地域活性化をテーマに活動、伝統的街区におけるコミュニティデザイン、路面電車の再生、地域連携教育などに関するプロジェクトを企画・実行する。2005年からは富山大学芸術文化学部教授として、屋外広告物を中心に景観まちづくりを推進する調査研究や改善策の提案を行っている。日本サインデザイン協会常任理事、サインデザイン専門誌「signs」編集長、富山県をはじめ全国各地の景観審議会委員等を務める。2011年「屋外広告デザインガイドライン及び屋外広告物のデザインと印象評価に関する研究」について第45回SDA賞特別賞・公益社団法人日本デザイン振興会会長賞を受賞。



菊竹雪 Yuki Kikutake

グラフィックデザイナー、首都大学東京大学院教授、横浜市屋外広告物審議会副会長

株式会社日本デザインセンターを経て、1990年、株式会社コンパソ設立。1994年度文化庁派遣芸術家在外研修員として、英国Royal College of Arts在籍。建築・空間・環境にかかわる、ランドマーク、スペース、車両、工事現場などのスーパーグラフィックから、VIデザイン、プロダクトデザイン、ブックデザインまで、ジャンルを超えたデザインを手がけている。JAGDA 新人賞、JCDデザイン優秀賞、SDAデザイン大賞、グッドデザイン賞をはじめ、海外では英国D&ADイェローペンシル賞、ブルネル賞等受賞。川崎市屋外広告物審議会委員、横須賀市屋外広告物審議会委員、多摩美術大学客員教授。



国吉直行 Naoyuki Kuniyoshi

都市デザイナー、横浜市立大学特別契約教授、横浜市都市美対策審議会委員

1971年早稲田大学大学院修士課程修了。同年横浜市都市デザインチーム(後の都市デザイン室)設立に参加し、以来40年間都市デザイン室に所属し、都市デザイン行政を担当。都市デザイン室長、上席調査役エグゼクティブアーバンデザイナーを経て2011年3月横浜市を退職。現在、横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース特別契約教授。横浜市での成果:都心部歩行空間整備、商店街の演出と街づくり協定運用、山手地区のまちづくり、赤レンガ倉庫などの歴史的建造物の保存活用とライトアップ、サイン・色彩演出、みなとみらい21地区や水際線空間演出を通じて「歴史と未来の共存する横浜」の創造を継続的に推進してきた。日本グッドデザイン賞金賞、土木学会デザイン賞特別賞、縮門建築会特別功労賞、日本建築学会業績賞など受賞。



六川勝仁 Katsuhito Rokukawa

馬車道商店街協同組合理事長、横浜市都市美対策審議会委員

横浜生まれ。慶応大学経済学部卒。米国留学し、米国家宝学会宝石鑑定士取得後、(株)アート宝飾入社。毎年開催される「横浜仮装行列、ザよこはまパレード」の企画宣伝委員長を務める。(株)アート宝飾代表取締役、横浜商工会議所常議員、横浜西口振興協議会観光宣伝委員長、横浜中間税会会長、TVK番組放送審議会副委員長、神奈川県匠会評議員。



末廣芳和 Yoshikazu Suchiro

屋外広告事業者、一般社団法人神奈川県広告美術協会会長

横浜生まれ。1981年日本電子工学院を卒業、有限会社広和電業社入社、その後株式会社キハラネオン製作所勤務を経て、1988年株式会社廣和を設立、代表取締役就任。1992年社団法人神奈川県広告美術協会理事に就任。横浜支部長、青年部部長、専務理事を経て、2012年社団法人神奈川県広告美術協会(現一般社団法人神奈川県広告美術協会)会長に就任。